

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市垂水町1丁目PJ新築	階数	地上7F
建設地	大阪府吹田市垂水町1丁目	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	196 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年8月 予定	評価の実施日	2023年7月27日
敷地面積	1,692 m ²	作成者	高松建設株式会社 大阪本店
建築面積	579 m ²	確認日	2023年7月27日
延床面積	2,810 m ²	確認者	高松建設株式会社 大阪本店

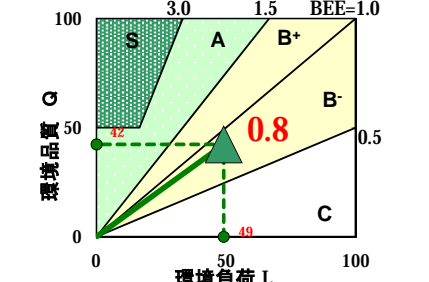
一級建築士事務所 山部隆浩



一級建築士事: シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

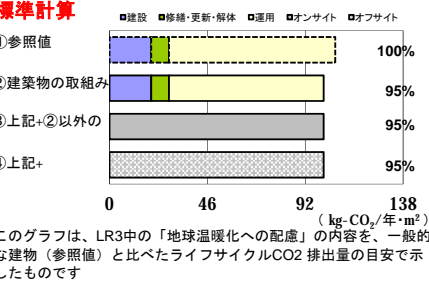
BEE = 0.8 ★★★★★



S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆



標準計算: 建設(青), 修繕・更新・解体(緑), 運用(黄), オンサイト(白), オフサイト(黒)

① 参照値: 100% (kg-CO₂/年・m²)

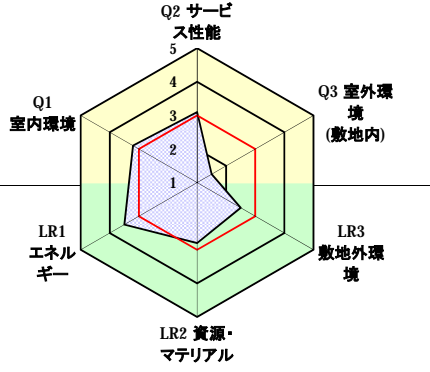
② 建築物の取組み: 95%

③ 上記+②以外の: 95%

④ 上記+: 95%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 2

LR1 エネルギー: 3.5

LR2 資源・マテリアル: 2.8

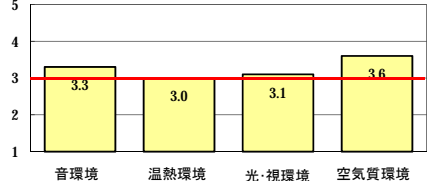
LR3 敷地外環境: 2.5

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

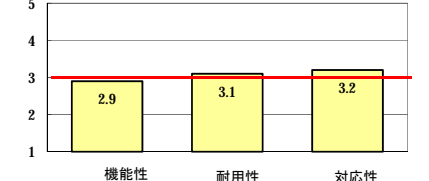
Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2



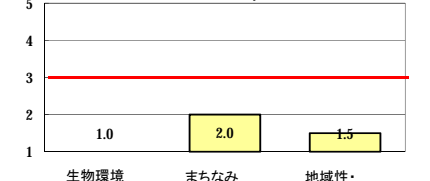
Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1



Q3 室外環境(敷地内)

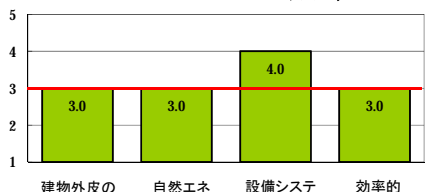
Q3のスコア = 1.5



LR のスコア = 3.0

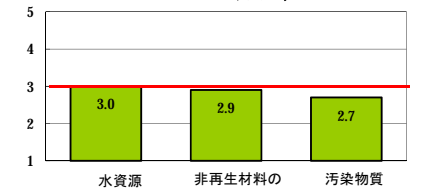
LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5



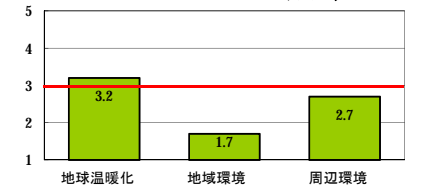
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8



LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.5



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
吹田市における、共同住宅用途の建築物として、建物の熱損失性能の向上及び一次エネルギー消費量削減に配慮した計画。	特になし。	
Q1 室内環境 住宅部分においては、断熱性能等級3に相当し、使用建材はF☆☆☆☆を使用するなど、室内環境に配慮した建築計画。	Q2 サービス性能 給水・排水・雑排水管において、硬質塩化ビニル管を使用している。 階高に十分な余裕を持たせた建築計画。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 特になし。	LR2 資源・マテリアル 特になし。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率95%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R5-0048

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)吹田市垂水町1丁目PJ新築工事							
	建設地	大阪府吹田市垂水町							
	用途/区分	集合住宅							
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B-					
①	CO2削減			3					
②	みどり・ヒート アイランド対策			1					
③	建物の断熱性			3					
④	エネルギー削減			4					
⑤	自然エネルギー直接利用			○					
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.2	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	1
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	1.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	1.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.0	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		